

課題挑む

技術士のソリユーション

[51]

自然な方向性

昨今の田高で製造業の海外移転による技術の空洞化など騒いでいるが、海外で同レベルの性能品質を確保できるならば、製造業のグローバル化を図った事業展開として自然な方向性である。逆に、日本の製造技術を製品購入によって習得す



クック所長
マサル ティング (機械部門・総合部門)
ヤサル (技術監理)
チコ 梶 克広 (技術)

社会基盤

製造業の輸出管理

とていう海外メーカーの管理が課題となる。ここ戦略もあり、我々は製品で、客先要求とコストで輸出に伴う高度技術の流ウンを両立させた例を液昇アレイ工程検査関連装置の実績から紹介する。

実績から紹介
技術者は顧客要求仕様 国内顧客に劣らず高値でコストは厳しい。特に先 リスク排除を徹底し、

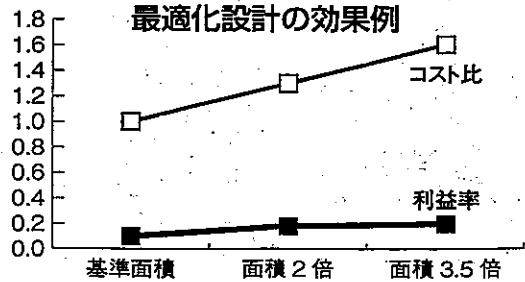
コア技術の徹底管理を

客先要求とコスト両立

の表現とコストダウンに 端機器装置の海外輸出管 多大な時間を割き、技術 流出のリスクを設計過程 ストアップになりがちだ で考慮することはない。 が、これに①試作開発費 ②輸出管理 をゼロにし、③輸出管理 を活用したリスクマネジ ④引き渡し後の メンテナンスフリーで対

の表現とコストダウンに 専門分野の強みをリスク 対応に取り入れた最適化 設計を実践することが対 応策だ。低コストを抑え せれば輸出管理該非判定 と審査も規定通り進む。 顧客の要求仕様によって は輸出管理に準拠した政 府の許可が必要になる が、社内管理体制に準拠 したリスク管理を徹底す

液晶基板大型化に対する最適化設計の効果例



ればよい。液晶の取引に戸惑う中小企業が少ない。装置ではリスクの解決手段を専門分野に集結させた結果、海外も装置大型化に比べて効果的にコストを抑えられ、処理時間短縮も実現できた。当該装置シリーズの成果を図に示す。

多くの技術士は、開発業務の中で高機能材、機械設備、通信機器、IT技術などを駆使してきている。最近、高精度機器装置の輸出や海外製品の外国間貿易を業としている企業の中には、輸出管理規制対象の貨物や技術

技術士が支援できる業務としての輸出貨物の技術診断は、開発業務の延長ともいえるため、技術流出というリスク回避に

リスク回避対応
技術士が支援できる業務としての輸出貨物の技術診断は、開発業務の延長ともいえるため、技術流出というリスク回避に

対処できると考える。ますます高まる海外依存の中で、技術競争力の維持は緊急の課題であるので輸出を業とする中小企業を輸出管理の面から支援するのにも技術士の役割と考える。輸出管理の該非判定例であるが、2009年9月から案件が増え、10年6月までに機械類で18件支援した。他にさまざまな通信機器、技術取引など7件あった。

(水曜日掲載)